

いっしょに食べよう！ 一学年親子学習会



七月十三日(金)。小学校六年間で一度しかない親子給食試食会が、体育館で行なわれました。メニューは、ごはん、中華あんかけ豆腐、シウロンポー、きゅうの醤油漬け、そして牛乳。

入学してから初めての親子学習会ということで、体育館に入ってきた子どもたちは、ワクワクしている様子で、お母さんを見つけると笑顔があふれています。お友だちとグループを作り、輪になって、親子で楽しくおいしい給食を食べることができました。

保護者の方からは、昔のアルミのご飯容器が話題にのぼったり、普段見ることのできない給食の配膳の様子を見ることができたりして、親子で楽しい時間を過ごせたようでした。



親子で作ろう！ 二学年親子学習会



八月三十一日(金)、二年生は親子でカレー作りをしました。

今回は、鍋ことにナスやオクラ、リンゴなどなど、八種類ものカレー作りに挑戦。まず、基本となる材料のジャガイモ、ニンジンの皮をピーラーでむきました。

なかでもジャガイモは子どもたちが自分で育てただけあって、気合十分。また、子どもたちが「玉ねぎも自分たちで切りたい」ということで、がんばって包丁で切っていました。それらを見守っているお父さん、お母さんのほうがドキドキしていたのではないのでしょうか。

そして、サイドメニューのポテトサラダを作り、料理は完成。仲良しのグループに分かれて、みんなでおいしそうに食べていました。



生まれてきてくれてありがとう！ 四学年親子学習会

八月二十四日(金)に、「いのちのお話出前講座」が行なわれました。

助産師さんからのいのちの大切さを学ぶ、とても貴重な機会です。受精卵がお母さんのお腹の中でだんだんと大きくなっていくことや、がんばってお母さんのお腹の中から出てくることに感動している子どもたちもいました。また、子どもたちには保護者からのお手紙が渡り、読んで感極まる子どもたちもいたようでした。

帰宅後、恥ずかしくて普段はなかなかできない「お互いが大切」というコミュニケーションを自然とすることができ、親子の絆が深まる良い機会だったと思います。



↑がんばって、子宮からでてきたよ！

